

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 TEL06-6833-9227  
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田 茂夫 TEL072-850-5781  
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成20年5月(2008年) No.509

## 安居親子で金賞、銀賞独占 ビデオサロンBGMコンテストで快挙

玄光社ビデオサロンが課題曲のBGMを使った映像を募集していましたが、何と安居さんの息子さんトップ賞の金賞、親の安居さんが銀賞を受賞するという快挙を為し遂げられ、周りをびっくりさせております。恐らく全国的にも話題となっていることでしょう。

与えられた曲をイメージして映像を当てはめて作品にする、ということは、一見易しいようですが、とかく平凡になってしまっただけで良い作品を作るのは難しいものです。この点、安居さんの「不安は不安」に対し、結果発表での審査員講評に「不安のかけらも感じさせないような曲の使い方にやられました。」愛の夢”と作品のテーマとのギャップが良い」とありました。ちなみに息子さんの安居充さん”A Fly's Nightmare” に対しての審査員講評は「まさにジョーカーですね。インパクトの勝利です」とありました。

こういう作品を見ていると、今、ハイビジョン編集の入口で四苦八苦している私たちには、何か別次元の世界のようにも思えてしまいます。しかし、映像を楽しむ、ということには色んな可能性、ジャンルがあってもいいものだと考えさせられます。

いずれにしても安居さん、お目出度うございました。この上は、ぜひ息子さんにもOMC入会を薦めてください。若い人の入会大歓迎です。

### 撮影会作品コンテストは例会日の午後1時より

近江八幡左義長まつり撮影会作品の公開審査は、例会日の5月24日13時より、例会場の第4研修室で行います。撮影会未参加の方もどうぞ来場して頂いて投票に参加して下さい。

### 5月例会のお知らせ

5月例会は第4土曜24日18時より、大阪市立難波市民学習センター(JR難波駅上OCATビル4階)にて開催。月1回の楽しい例会と二次会、皆様のご来場をお待ちしています。作品の方もよろしく。



## OMC映像フェスティバル

### 7月例会までの作品から選定

恒例のOMC映像フェスティバルは、今年も10月の上旬を予定し、3ヶ月前に行われる大阪市立中央会館の抽選会にのぞみます。くじ運を祈るばかりです。プログラム編成は8月2日(第1土曜)18時よりの幹事会で決定します。従って、作品は7月例会までの上映作品の中より選びます。

もっとも例会作品以上の新作があれば変更する場合がありますが、題名と時間はプログラム印刷上変えられません。

作品予定の方は、とにかく7月例会までに仕上げてください。まだ今からでも間に合います。どうぞ頑張ってください。

■作品テープは黒画面15~20秒の後にクレジットタイトルを入れてください

公開映写会では一瞬たりともカラーバー等余分の画面は出たくありません。今まではSDが1コマ送りで頭出し出来たのに対し、ハイビジョンではコマ送りが難しく、藤原さんが苦労しておられます。例会作品を拝見していますと、まだ直前によけいな画面が入れている作品が多いのでお互い注意しましょう。

■東大阪市映像フェスの作品募集中

8月31日(日)13時30分より行われる映像フェスの作品募集中。岡本氏へどうぞ。

### 4月例会レポート

桜の季節も終わり絶好の日和の日に、4月例会は26日18時よりいつもの会場で開催しました。司会：安居氏、書記：前田氏、機材：江村、河合、増池、の3氏、受付：奥、進藤の両氏で進行しました。

◆出席者：有村、井上、上田、江村、岡本、奥、紙本、河合、河口、黒田、合原、進藤、関、西井、華岡、藤原、前田、増池、宮井、宮崎、森口、森田、安居、山本、吉岡、渡辺の26氏、と上映作品16本。

◆上映作品(今月の講評は前田世話役です)

#### 1. 松尾祭

西井 学さん 7分48秒

松尾大社から撮影を依頼された大祭の記

録作品。昨年5月と6月に松尾大社の記録作品を発表されましたが、その再構成のような作品です。川の中で御輿を舟に乗せるシーンや舟から降ろすシーン等を橋から俯瞰撮影されており様子がよく判りました。何でも協力者がおられて2カメラで撮られたそうで、このようなお祭り等の大きなイベントは一人で撮るのは難しいですね。前半にはナレーションがあってよく判ったのですが、後半にはなく、川を渡ってからのナレーションも欲しかったです。前作より良くなっているとの司会者のコメントでした。

#### 2. 赤と白のリズム

増池 茂さん 4分55秒

Hi8時代の作品です。9年前にFEP5の大観覧車を撮影した作品。やはり今から見ると、映像に精細感がなく、二昔前の印象でした。最新のカメラで再撮影をされて見せていただきたいものと思いました。イメージカットを積み重ねて、BGMも選曲し直し、編集にテンポを持たせたらよかったのではないかとのコメントがありました。しかしエスカレータのシーンはよく撮られていたと思います。

#### 3. 宇治の名水(W)

森口吉正さん 7分30秒

名水紀行がお得意の作者は今回は宇治を選ばれました。源氏物語完成千年に因んで制作されています。作者の過去の名水紀行作品はこんこんと清水が湧き出て美味しそうに飲まれるシーンがあったのですが、宇治の名水は7つあったのが6つは枯れてしまっていて、かろうじて桐原水が一つだけ残っているそうです。映像で見る限り、飲む人もなく、とても美味しく飲めそうにもないと思いました。やはり、これも開発による環境破壊の影響でしょうか、人の増加による環境破壊はこんなところにも及んでいるのかと、不安になりました。しかし、作者のナレーションの名調子と感じのいいBGMで最後まで心地よく鑑賞できました。

#### 4. 阿波木偶箱廻し(HDV)

吉岡貞夫さん 14分35秒

木偶は人形、天秤棒で二つの木箱を担ぎ二人から三人一組で全国を津々浦々を興行



して廻った人形浄瑠璃が、かつて大道芸として行われていたそうです。その木偶箱廻しの復活に取り組んでいる徳島の「阿波木偶箱廻しを復活する保存会」の人々記録です。西宮神社及びその周辺で行われた辻興行を克明に撮られた記録作品です。西宮神社の祭事の合間に行われたそうで、1月5日作者は神社からの連絡で気が進まないまま撮影されたそうですが、これは貴重な記録だと思いました。この人形浄瑠璃師をもっと突っ込んで追っかけたいと作者のコメントでしたが、人を追えば追うほど素晴らしい人間ドキュメンタリー作品になることは間違いないと思います。期待しています。

#### 5. 春らんまん原谷苑 (HDV)

奥 宏さん 3分13秒

京都の北山、金閣寺の北にある個人の庭園「原谷苑」で桜や春の花を撮られてきた作品です。4000坪もの広い庭園に花木を植えてこの時期にのみ一般に開放しているそうです。あまり知られていないそうですが、個人で素晴らしい広大な庭園を所有されていることに驚きました。作品は花のアップあり、ロングありで、カラフルな花をいろいろ撮られているので楽しめました。

#### 6. 国府宮はだか祭り (HDV)

紙本 勝さん 13分10秒

祭りを撮ったら右に出るものがないといわれる紙本作品は、天下の奇祭を凄い迫力で描いています。大勢の男衆が裸でもみ合い、その中のたった一人の神男に触ると厄払いが叶い、幸運が舞い込むようで何とも迫力ある映像に度肝を抜かれました。体と体がぶつかり合い、擦れあって危険なので手桶集団が登場し、命水をまくのですが、熱気ですぐに蒸発にて湯気が立ちます。その湯気を半逆光の光線で見事に捉えられており、素晴らしいクライマックスシーンでした。しかし、よくも各地の珍しいお祭りを探し出して撮ってこられ作品にする努力に敬服いたしました。何とも迫力満点の見応えのある素晴らしい作品でした。

#### 7. 春・第三楽章 (HDV)

有村 博さん 4分21秒

近所の公園で桜の花を撮ってこられた短編です。ビバルディ四季の第三楽章のBGM

に載せて、快晴の青空をバックに桜の花が美しく映え綺麗な映像ですが、桜の花ばかりではやはり難しいのでは、とのコメントもありました。

#### 8. 星まつり (HDV)

進藤信男さん 10分53秒

箕面の寶生山帝釈寺の節分の行事「星まつり」の記録です。人には一人一人にその人固有の運命の九曜星があり、もう一つは毎年現れる時々の星だそうです。悪い星に当たる人は祈ってもらい災いに当たらないように、いい星の人は一層良くなるように祈るそうです。作品は修験道の作法に沿って進んでいきますが、大護摩供養、さらに火渡り神事とクライマックスを迎えます。判り易く行事の流れをよく捉えたなかなかの努力作品でした。

#### 9. イルミネーション神戸 (HDV)

井上勝彦さん 4分06秒

神戸のイルミネーション、ルミナリエ等、夜の神戸を描いた美しい作品です。BGMに合わせて、画を貼り付け映像とBGMとがマッチングするように苦心されています。映像も早送りやスロー等をいれて緩急を付けて効果を狙われています。うまく画と音とがあっており綺麗な映像作品でした。使用カメラはHC3でしょうか、夜景が明るく撮れていたのが驚きました。

#### 10. YOSAKOI 2007 (HDV)

江村一郎さん 8分00秒

いつもながらの故郷、高知の「よさこい」の作品です。毎年同じ被写体を撮っても、毎年違った作品に纏めてこられます。YOSAKOIを知りつくしている作者だから出来る技なのでしょう。聞けば、HDVになってSEの音質に苦労されてるそうです。DVの時は音割れが少なく気にしなかったそうですが、HDVになって大音量をカメラが録音しきれずに割れて使えないことが多いとか…。DVはPCM録音、HDVはMPEG1録音、この差が大きいようです。

#### 11. 五所川原立佞多 (HDV)

河合源七郎さん 11分43秒

五所川原の立ちねぶたがメインの作品です。何とも高さ22mの大きな立佞多の姿は圧巻でした。何でもそれを格納する高く



て大きな館には立佞多3基しか格納できずに、毎年1基作っては3年前製作の1基を毀して、3年間は見物するそうです。他にも一人参加のねぶたや家族参加のねぶた等もあって、青森県各地のねぶた祭りの拡がりや深さに驚きました。迫力あるねぶた祭りの映像を楽しめました。

## 12. 上海と昆明 (HDV)

森田光春さん 9分08秒

大阪から客船蘇州号に乗って上海に渡り、陸路雲南省の首都昆明までの旅の記録です。上海、豫園から始まって列車で1600キロ離れた昆明へ向かいます。寝台列車で二泊かかるそうです。昆明では民族村を中心に見物して廻ります。雲南省に住む26の少数民族のうち、16の民族村が造られています。その中から幾つかの部族の、民族衣装、器楽演奏や舞踊等を紹介して行きます。広大な土地に造られた観光施設のようで、そこに住む少数民族の人たちは観光収入だけで生活しているのかどうか、気になりました。上海から昆明へと、長距離を無理にくっつけないで、昆明民族村の映像だけをもっと豊富に纏めたらよかったのではないかと司会者のコメントがありました。筆者としたり上海・豫園の雑多とした市場の様子をもっと見てみたかったと思いました。かつて豫園へ行ったときは、時間もなく駆け足で通り過ぎたのと、撮影するのが怖かった印象でほとんど何も撮っていませんでした。

## 13. 余部に田植の季節が訪れて (HDV)

前田茂夫さん 9分46秒

余部には数え切れないくらい通っていますが、田植の映像がなく江村さんから提供してもらった分を一部使わせてもらいました。作者としたり長閑な日本の原風景の田植と鉄橋、列車を描いて見たかったのですが、少しカットが長かったようです。

## 14. ひな流し (HDV)

上田吉己さん 8分00秒

OMC 再入会后2作目の作品ですが、実に丁寧によく撮られています。お雛さんを3艘の小舟に積み込んでから、浜まで運ぶのに常に先回りして、ほぼ完璧に捉えています。祭りの状況をよく調べられて臨んだ

そうですが、ひな流しの日が平日であったことも幸いだったようです。おひな様を満載した小舟が沖合いに向かって流れていくラストシーンはなかなか情感があつて良かったです。日本人の琴線に触れるいい作品でした。

## 15. 追憶の館 (HDV)

合原一夫さん 8分15秒

さいたま市大宮の北にある鉄道博物館を訪ねて作られた作品です。JR 東日本創立20周年記念事業として建設されたそうです。館内には各種の展示物が沢山ありますが、作者にとっては三段ベッドの寝台車に格別の思い出があつたようです。東京へ就職の際に初めて利用されたそうで、若かりし頃の思い出から「追憶の館」という作品が仕上がりました。寝台列車は走っている時は眠れ、停車すると目が覚めるものですね。鉄道ファンの一人として興味深く鑑賞させていただきました。筆者も「銀河」に乗って鉄道博物館へ行きたいなと思いましたが、ついに行けずじまいになりました。

## 16. 大シルクロードを駆ける (HDV)

山本正夢さん 16分00秒

タイトルに「大シルクロードを駆ける」と、ある通り壮大な被写体を撮られています。神戸からイスタンブールまで、12000kmを16分で描いたと、作者はコメントされました。映像内容は、ノンナレーションで、グーグル地図、列車内外および沿線各地の風景です。中央アジアの広漠とした風景、人々を飽きさせない巧みな編集技術と、珍しい風景の連続に16分はあつと云う間に流れていき、イスタンブールに到着して見終わったときには、会員から歓声ともため息ともつかぬ声が上がりました。こんなことはこれまでなかったように思いました。これまでの作品群と違って作者の登場がしばしばあつてより親近感が湧きました。会員は作者を知っていますが、知らない第三者が見たら果たして判るだろうか、作者の登場に何か一工夫があつても良かったのでは、と思いました。長編ですが、時間を長く感じさせない素晴らしく壮大な作品でした。